

21世紀と宗教 (01ZZ641)



複雑な国際情勢、テロなどの暴力と対峙せねばならない現代社会において、それを解く鍵ともなる宗教について正しい知識と理解を得ることは重要です。宗教による対立や政治への介入は紀元前の昔から続いてきた人類の課題とも言えます。その歴史や背景を正しく知り、現在のグローバルな社会において正しく対応するための知識と理解を深めるための授業です。

7月21日、28日(土)

2～6限目 (10:10-18:00)

人社会学系棟A棟722(中央図書館前)

7月21日 宗教社会学の観点から現代社会と宗教について考える。特に宗教とツーリズムに焦点を当てる。山中 弘先生(筑波大学)
現代におけるチベット社会の問題を経済開発と民族という観点から捉える。
別所 裕介先生(駒澤大学)

7月28日 現代社会における技術革新が持つ宗教的意義について考察を加える。
木村 武史先生(筑波大学)
中東・北アフリカの現地の目を通しての世界の実情について考える。
鷹木 恵子先生 (桜美林大学)

TWINS履修登録期間(～7/23)

問い合わせ先：大学院共通科目事務室(#5837) ggec@un.Tsukuba.ac.jp